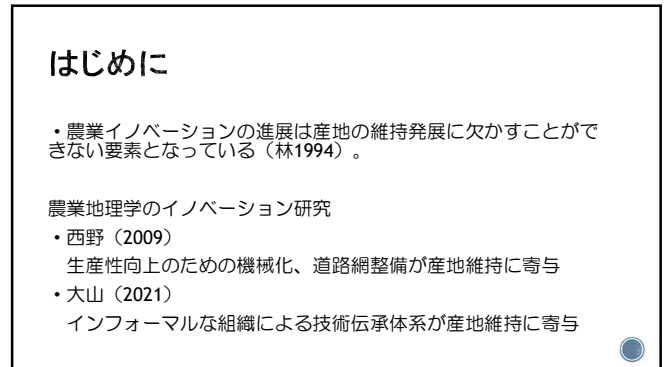
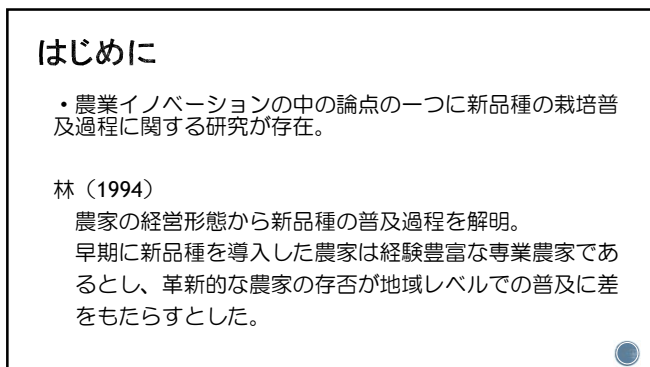


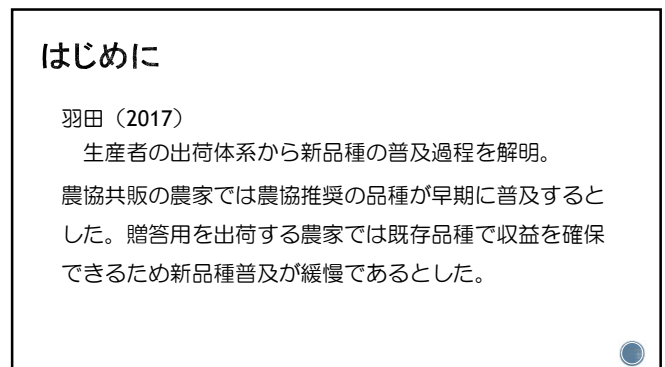
1



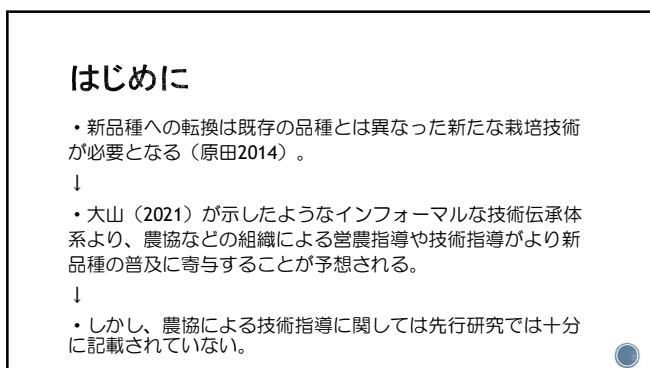
2



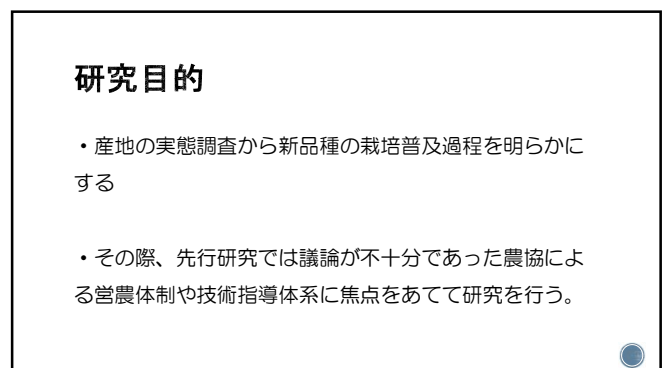
3



4



5



6

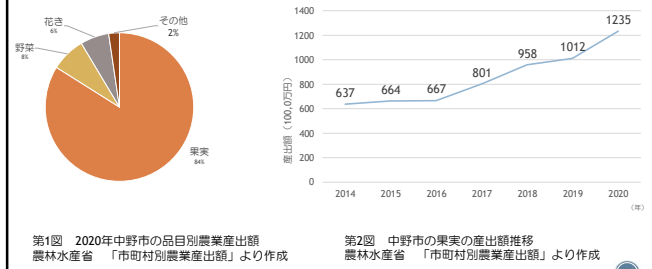
## 対象地域について①

## 長野県中野市

- ・長野県北部に位置する都市  
2005年に豊田村と中野市が合併して誕生。
- ・人口は2022年現在、41,404人。
- ・千曲川や夜間瀬川の扇状地を活かした果樹栽培やエノキダケの栽培が盛ん。

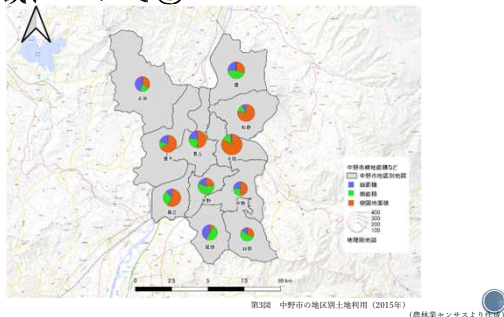
7

## 対象地域について②



8

## 対象地域について③



9

## 調査方法

## 資料、文献調査

中野市農協資料、中野市誌歴史編 (1981)、市川 (2009)

## 聞き取り調査

中野市農協園芸課職員

(農協の概要、品種更新の際の取り組み、営農指導体制について)

中野市農協ブドウ部会部会員4名

(経営体系、品種の採用理由、農協との関係などについて)

10

## 調査結果①

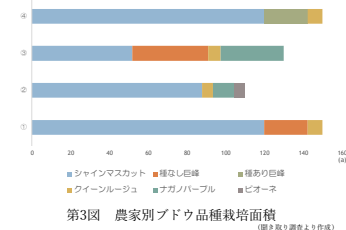
表1 聞き取り農家の概要

農家番号	年齢	居住地域	経営形態	ブドウ以外の栽培品目	ブドウの栽培面積 (a)
①	40代	平岡地区	専業		150
②	50代	高丘地区	専業	なし、米、柿	110
③	40代	科野地区	専業	すもも	130
④	50代	中野地区	専業		150

(聞き取り調査より作成)

11

## 調査結果②



・シャインマスカットは各農家とも主力品種として栽培されている。

・昨今の市場状況から「種なしブドウ」の生産が盛んに行われている。

12

## 調査結果③

### 各農家の新品種導入の際の情報源

- ・中野市農協ブドウ部会での情報交換 (①②③④)。  
→ 一部会員同士のつながりは非常に強固。
- ・農協の営農指導員からの情報 (①④)  
→ 特に講習会や品評会の場で盛んに情報交換
- ・近所同士での情報交換 (①)  
→ 一方で、近所同士の付き合いが全くない農家も存在 (②)。

農協の生産部会や営農指導員からの情報が大きな影響を与えている。

13

## シャインマスカットの栽培導入

- ・導入過程ではブドウ部会が中心的な役割

部会規則が厳密に定められており、部会員同士の仲間意識が強い

- ex) 「シャインマスカット産地化プロジェクト」を主導  
農協と共同で苗木の育成  
希望農家への苗木の配布

新品種の情報・行動を生産者(部会員)に迅速に伝達できる体制を構築

中野市農協ブドウ部会の概要

部会員数 509名  
支部数 9

活動内容 品評会の実施  
共選所の運営  
定期点検の実施  
産地振興活動など

14

## シャインマスカットの栽培普及

- ・新品種の栽培技術を早期に取得することが栽培普及の成否するポイントである。(原田2014)

- ・農協では市内計16カ所で約7種類のシャインマスカットの栽培技術講習会を実施。他にも「日曜園芸教室」「新規就農者講習会」等を実施。各農家の評価も高い。

父親からは教わるができない最新の技術を教わる事ができて非常に役立っている

素人でもなんとか生活できるくらいの支援をしてきている。

農協の営農指導員による栽培技術講習会が栽培普及に寄与

15

## 中野市農協の営農指導体制

営農指導員数：15名（ブドウ担当は5名）

※全国平均の2.3倍

内容：生産者の相談窓口（栽培品目、品種、病気への対処への助言。）

市場動向調査（将来の市場動向を先読みし生産者伝達する。）

特徴：販売業務を兼務せずに営農指導に専念

16

## おわりに

- ・中野市ではフォーマルな組織である農協が品種更新の場面で大きな影響を与えていた。

ブドウ部会の結束の強さと情報が浸透しやすい土壌

営農指導員による充実した栽培技術指導

- ・一方、大山(2021)が指摘したようなインフォーマルな組織による技術伝承体系は確認できなかった。

これは農協の影響力が強大でインフォーマルな組織に頼る必要性が少なかったことが原因と考えられる。

17

## 参考文献

- ・市川康夫・市村卓司・村田裕・仁平尊明 2009. 長野県中野市における果樹園芸の地域的特色. 地域研究年報31: 21-44.
- ・内山幸久 1998. 長野県中野市における巨峰生産の特徴. 立正大学人文科学研究所年報26: 39-48.
- ・大山悠基 2021. 山形県東根市における果樹生産地域の維持要因. 富山大学人文学部人文地理学研究室卒業論文.
- ・高橋正明 1978. イチゴ産地の販売組織と市場対応. 人文地理 30(3): 193-210.
- ・中野市誌編集委員会 1981. 『中野市誌歴史編後編』.
- ・西野寿章 2019. 大規模野菜産地の維持要因—群馬県嬬恋村を事例として—. 地学雑誌 128-2: 301-321.
- ・羽田 司 2017. 長野県須坂市における果樹農業の品種更新プロセス. 地理学評論90-6: 555-577.
- ・林 秀司 1994. 栃木県におけるイチゴの新品種「女峰」の普及過程. 地理学評論67-9: 619-637.

18